

あいちロボット産業クラスター推進協議会 無人飛行ロボット活用ワーキンググループ 実証実験の実施について(案)

愛知県では、ロボットの実証実験を支援するために、これまで「愛・地球博記念公園」を実験場として提供してきたところであるが、無人飛行ロボットに関しては、より広く、また周囲への影響がより小さい場での実験が望まれている。そこで、本ワーキンググループでは、本協議会の会員に限り、新たな実証実験場を提供し、無人飛行ロボットの高性能化、活用の促進を図る。

A. 名古屋港南5区

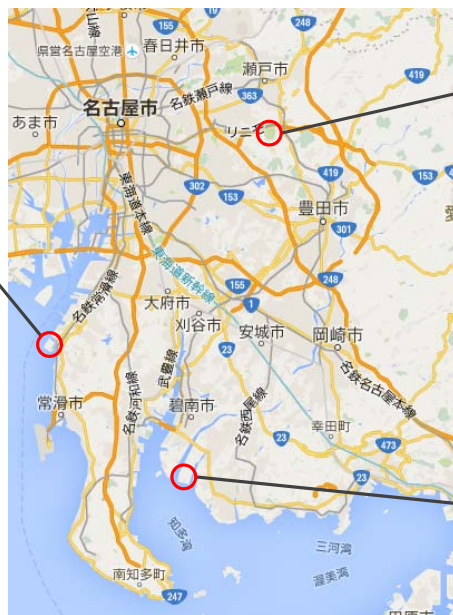
＜敷地管理者＞ 名古屋港管理組合

＜フィールドの状況＞ ・平坦な整地。



約450m

約700m



愛・地球博記念公園

＜施設管理者＞ 公益財団法人愛知県都市整備協会

＜実施方法＞ 愛知県ロボット実証実験(愛・地球博記念公園)応募要項に則り実施。

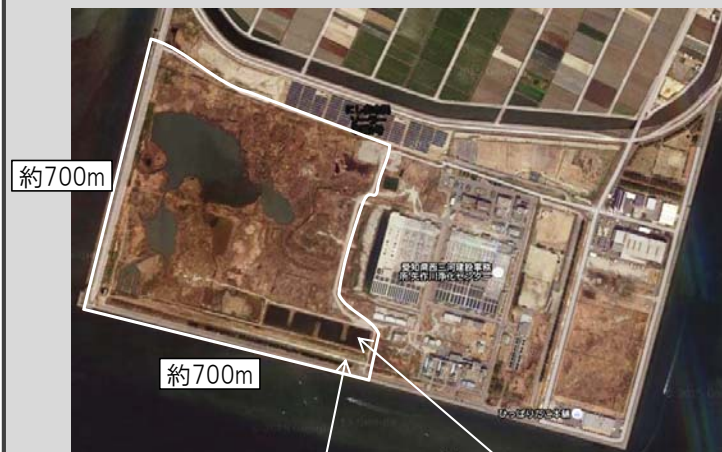
＜フィールドの状況＞ ・多目的広場(114m×170m)での実施
・高さ制限10m



B. 矢作川浄化センター隣接地

＜敷地管理者＞ 公益財団法人愛知水と緑の公社

＜フィールドの状況＞ ・池が多い。人工池も有り。池での実験も可。
・海沿いの車道以外は深い草むら。



＜実証実験場A及びBの実施方針＞

1. 本協議会の会員である実験を希望する者は、実証実験実施申込書を事務局(県次世代産業室)へ提出。敷地管理者等と協議・調整した上で、実施の可否を決定。
※申込書には、実施目的、実施内容、無人飛行ロボット仕様、実施場所、希望日時、実験参加者名、持込品を記載。
2. 実験場の使用後は、現状復帰とすること。
3. 実験に必要なもの(発電機等)は実施者が準備する。
4. 実施に際しては安全に十分に配慮すること。万が一、事故が発生した場合、その責任は実施者が負う。
5. 実施者においては、損害保険(対人・対物)に加入すること。

＜スケジュール＞

- 現地下見説明会 : 8月上旬 (参加希望者は、別添アンケート用紙に御記入ください)
- 実証実験実施申込開始 : 8月中旬
- ※ 当面は2年間程度を想定。